

お知らせ

いのち 第2回生命を見つめるフォト&エッセー 作品募集

<概要>

① フォト部門

いのちの尊さ、大切さを感じさせる写真を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

② エッセー部門

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。

<応募要項ほか>

詳細は、コンテスト公式ホームページ (<http://inochi-photo-essay.com>) をご参照ください。

※医師および医療従事者も応募可能です。

<締め切り> 2018年10月4日(木) (必着)

<作品送付先・お問い合わせ先>

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社 事業開発部「いのちを見つめるフォト&エッセー」係

TEL: 03-3216-8606 (平日午前10時~午後5時)

主催: 日本医師会、読売新聞社 後援: 厚生労働省

お知らせ

日本医師会作成 『心肺蘇生法CAB+Dカード』について

◇救急医療部◇

日本医師会が救急蘇生法の普及啓発のため作成・配布しております『心肺蘇生法CAB+Dカード』(二つ折り名刺サイズ)につつまして、地域住民(患者等)への配布や、各種研修会でご活用いただきたくご案内申し上げます。

ご希望の方は下記宛に必要部数をご連絡ください。(送料無料)

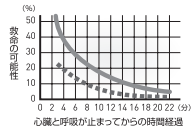
連絡先: 北海道医師会事業第三課

TEL 011-231-1726

FAX 011-210-4514

E-mail 3ka@m.dou.jp

身近なあなたにかかっています。救命の可能性は時間とともに低下しますが、救急隊の到着までの短時間であっても救命処置をすることで高くなります。



出典: 救急蘇生法の指針(市民版) 第3(救命の可能性と時間経過)より引用

かかりつけ医を
持ちましょう
11月1日は「いい医療の日」
日本医師会
www.med.or.jp



大切ないのちを救う
心肺蘇生法

日本医師会
<https://www.med.or.jp> 2017

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます!

